



1学期の終了 「節目を大切に」

令和2年度の1学期が終了し、本日終業式を行いました。式では生徒を代表して、中武 駿くん(1年)、矢野 有希子さん(2年)、松浦 侑平くん(3年)、菊田 礼夢くん(生徒会)が、それぞれの立場で今学期の反省を発表しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、5月中旬まで臨時休校や部活動中止が続くなど、異例のスタートの学期となりました。また、感染防止対策や新しい生活様式を入れながら、とても慌ただしい期間でした。

各学年の1学期終了という節目のときに、一人一人が今学期の自分を静かに振り返ることはとても大切なことです。その反省を夏休みや次の2学期の生活にそれぞれが生かしてほしいと望みます。



「いのちの大切さ」について考える

夏休みを前にして、今年も7月第1週は「宮崎県いのちの教育週間」として、学校や関係機関などが連携して、県下一斉で「いのち」について考える取組が推進されました。

東中学校ではこの週の道德の時間に、各学級で「いのちの大切さ」について考える機会をもちました。給食時の放送では、児玉 光さん(3年)が「いのちに関するメッセージ」を話しました。また、黒木 直子先生が、長女(晴子ちゃん2歳)を出産された時のエピソードや、9月に出産予定の第二子についての思いなど、家族や命のつながりについてお話しをされました。

23日(木)から長い夏休みに入ります。自分や他の人の命の大切さやについて、ぜひ家庭でも話題にする機会をもちましょう。「自分の命は自分で守る」。各自が水の事故や交通事故などにも十分に気をつけて、安全で楽しい夏休みにしましょう。



宮崎県「いのちを大切にす教育」

- 今日は道德の時間に家族について考えた。あらためて、家族がいることは当たり前じゃないんだなあと思った。感謝の気持ちを表すことはむずかしいけど、今日は手紙に書くことができ、本当によかったと思います。
- 命の大切さについて学びました。いろんな人が支えてくれて今の自分がいるということあらためて感じました。今生きているということに感謝したいです。

スマホ・ネット社会と上手に向き合うために

10日(金)に「スマホ・ネット社会と上手に向き合うために」という演題で、日向市青少年育成センター相談員の黒木広充様に講演・講義をしていただきました。

テーマ1では「ネットの特性と情報発信のリスク」
 テーマ2では「スマホ・ネットと人との関わり」
 テーマ3では「スマホ・ネットゲーム依存」
 について、具体的な例や気をつけるべきポイントなどを分かりやすく説明をしていただきました。

講演の中で話された大事なポイントを紹介します。

- ① 画像や動画は気付かないうちに犯罪につながる。
ネットに載せてはいけない。
- ② ネットで相談・グチは厳禁！信頼できる人に会話で！
- ③ ゲームを毎日1時間以上すると深刻な影響が出る！
- ④ スマホ・ネット利用で最初に考えることは必要性。(今の自分に必要であるかどうか)

- 今日はスマートホンやインターネットについての指導がありました。利用の心構えやネット依存にならないための大切なポイントがよく分かりました。
これからは、ネットに対してもっと真剣に考えて利用していきたいと考えました。

- 僕はLINEはやっていませんが、最近音楽やゲームを時間を気にせず利用していたので、気をつけなくてはいけないなあと思いました。これからも依存症にならないように注意しながら、スマホやパソコンを使おうと思います。

